

平成29年度 地方創生関連交付金事業

【交付金種別】地方創生整備推進交付金

NO		交付金対象事業名称		事業目的・概要						
4		元気で活力ある産業が育つまちづくり計画		本事業は、市道・林道の一体的な整備により、集落間のアクセス改善や災害時におけるバイパス道路の確保とともに、林業生産コストの縮減を図り森林整備事業の促進につなげることを目的としている。 市道については、拡幅等により見通しの改善や離合場所の確保を図り、通行の安全性を考慮した道づくりを進めており、林道については、森林施業の効率化や迂回路としての役割を果たす新規路線の開設及び路面の洗掘等を防止し通行の安全を確保するため既設林道の舗装を行っている。						
		総合戦略の位置づけ								
		基本目標1 しごとを創りだす未来創造戦略								
		事業開始	事業終期							
		平成27年 4月	平成32年3月							
実施事業名		総事業費	交付金対象経費	財源内訳		実施内容				
				交付金	一般財源等					
1	地方創生道整備推進交付金事業	1,047,200	1,047,200	523,600	523,600	○市道 蕨野稲葉野線道路改良事業	L=500m			
						○林道 長迫・小原線舗装事業	L=4,980m			
						○林道 西林・神陰線開設事業	L=2,750m			
						○林道 横瀬・広瀬線開設事業	L=620m			
						○林道 熊山線舗装事業	L=4,500m			
合計		1,047,200	1,047,200	523,600	523,600					
重要業績評価指標(KPI)		単位	事業開始前	KPI	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	増加分累計
1	素材生産量(木材)の増加	百m ³	223	目標値	224	226	229	232	235	
				実績値	251	249	190			
2	商業施設、物流拠点等までのアクセス改善 市道 蕨野稲葉野線(集落から道の駅とうごうまで)	分	18	目標値	-	-	18	17	16	
				実績値	-	-	18			
	商業施設、物流拠点等までのアクセス改善 林道 長迫・小原線(市町境から木材加工団地まで)	分	42	目標値	37	33	29	25	22	
				実績値	38	34	31			
	商業施設、物流拠点等までのアクセス改善 林道 熊山線(林道終点から木材加工団地まで)	分	101	目標値	97	94	91	87	83	
				実績値	97	95	94			
3	年間観光入込客の増加(道の駅とうごう等)	万人	36	目標値	36	37	38	39	40	
				実績値	42	43	40			
事業効果	地方創生に効果があった	・素材生産量については、28年度までは目標を上回っており効果が認められた。29年度は、九州電力の大規模送電線工事の影響もあり、素材生産が実施できず目標を下回ったものである。(管内素材生産量としては、目標値を上回っている。) ・アクセス改善については、事業進捗の遅れにより目標を下回っているものの、着実に事業効果が図られている。 ・観光入込客については、目標値を上回っており事業の効果が認められている。								
今後の方針	事業の継続	適切な森林整備や効率的な木材生産及びアクセス改善や交流人口の増加を図るためには、路網の充実が不可欠であることから、引き続き本事業による市道と林道の一体的な整備を実施する。								
評価	近年頻発する局地的豪雨や台風災害などにより、林道の開設や舗装事業の進捗が遅れが生じたものの、実施区間については通行の安全の確保やアクセス改善が図られ、素材生産量の増加や年間観光入込客の増加につながるなど、一定の効果が認められた。									